



選手をコアとしたスポーツ支援

24. February. 2021

MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

経営企画部 倉田 秀道

I . 独自に、シンプルに、築いた枠組み

5つの構成要素 <外部評価による>

1. “大会応援”が取り組みの柱（とりわけ障がい者スポーツ）
2. キャリアを考慮したアスリート雇用
3. 自治体と連携した地域貢献活動
4. 学生教育、人財育成に貢献
5. 独自の支援スタイル『スポーツメセナ+コーポレートスポーツの融合型』

その他の取り組み

- ◆NFスポンサー契約：5団体（大会協賛を含む）
- ◆スカラシップ：パラアスリート向け奨学金給付
- ◆選手と社員の交流：大会会場での交流、写真展、ファミリーデーイベント等
- ◆社内講演会：選手や関係者による講演会
- ◆ボランティアセミナー：全国9会場で実施（日本財団パラサポと連携）
- ◆ユニバーサルマナーセミナー：選手による講演とタイアップ
- ◆アスリート研修会：所属アスリート向け研修会
- ◆地域別の協賛：都道府県スポーツ協会、都道府県障がい者スポーツ協会、
地域別NPO法人スペシャルオリンピクス など
- ◆地域別の寄付：都道府県障がい者スポーツ団体 など

Ⅱ.アスリートが真ん中

1. アスリートサポート

アスリート雇用

- アスリート雇用はスポーツ支援の本質的な取り組み

3つの採用方針

- ①デュアルキャリア：業務と競技を両立
- ②エリアサポート：地域で頑張る選手を支える
- ③キャリアプラン：競技引退後も継続雇用

- アスリート雇用も共生を意識

当初はパラアスリート雇用から、現在はオリ・パラ両方の選手が在籍

- アスリートの社会での活躍の場を創出

強化の環境づくり ～アスリート社員～

- みなし勤務

練習の「量」と「質」 まずは練習量の確保

- 休暇取得

ONとOFF 強い選手ほど休ませる勇気を持たせることが大事

- 自己負担の解消

強化費 国内外の遠征、傾斜配分 ※コーチ、トレーナーフィ含む

- サプリメント

必要経費 月例給与に参入、傾斜配分

- レースウェア、トレーニングウェア

必要経費 会社から提供

業務の環境づくり ～アスリート社員～

- 勤務先の考慮

トレーニング拠点、住まい、勤務先を配慮して勤務地を決定

- パラアスリートへの配慮

勤務地

拠点ビルのバリアフリー化

駐車場確保（車いす利用者の場合）

社員の「心のバリアフリー研修」実施

シスター社員によるサポート制度（知的、精神障がいの場合）

- 地域での社会活動も業務の一環

机上だけが業務ではないとの認識から、アスリートの強みを生かした社会活動なども業務として読み替えて評価

2. オリジナルのアプローチ

アスリート研修会

- 所属企業としてアスリートを教育・育成する責任

- ① ハラスメント
- ② コンプライアンス
- ③ ダイバーシティ
- ④ モチベーション
- ⑤ アンチドーピング
- ⑥ トレーニング計画、ピリオダイゼーション、目標設定
- ⑦ 食育、サプリメント
- ⑧ コミュニケーションの基本
- ⑨ 自分スタイルづくり
- ⑩ 外部講師によるセミナー
- ⑪ 競技者としての気構えに関する意見交換
(練習面、生活面、業務面など)

- オリパラ融合の小さなコミュニティ



地域貢献（自治体との連携）

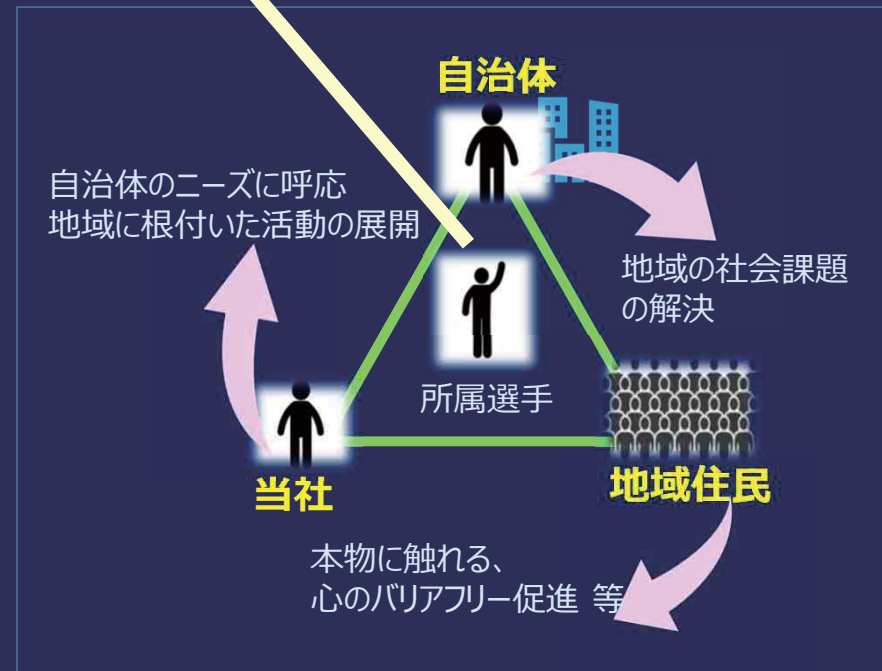
- 所属アスリートにとっても成長の場

アスリートの能力開発：コミュニケーション力、講演スキルなど
アスリートの成長の場、社会で活躍する場づくりにつながる

- 連携による仕組みづくり

自治体主催講演会
小学校出前授業
川内選手とのマラソンキャラバン

オリジナルマニュアル策定して運用



教育支援（大学との連携）

障がい者スポーツを通じた共生社会の理解



障がい者スポーツ現場での協働活動

- 大会への応援観戦
- 体験会の実施
- 大会へのボランティア参加
- 学内パラスポーツイベントサポート
- 小学校への出前授業（コラボ企画）

学術面での協働活動

- 授業（連携講座）
- 公開講座
- セミナー
- 「多文化共生社会研究所」設立
- 社会人教育課程 開設

所属選手も参画

3. コロナ禍での取り組み

応援バトンリレー投稿

- 所属アスリートによる「コロナに負けるな！ 応援バトンリレー」 (5~6月)

- (狙い) ①工夫しながら業務を行う全国の社員に元気を届ける
- ②ステイホームで過ごされている社会の皆さまに少しでもお役立ち

公式facebook：一般向け



イントラ社内報：社員向け



社内オンライン駅伝2021

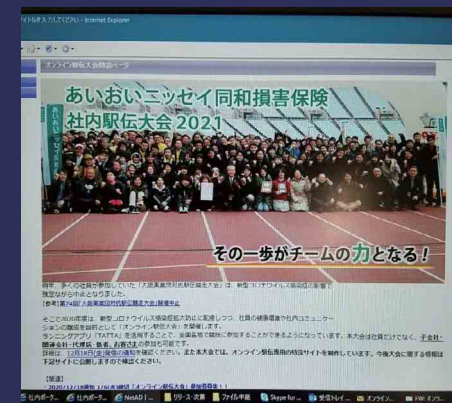
- 職場や仲間で駅伝チームを組成して参加 (2021年1月)
- 川内優輝選手が応援アンバサダーに就任、一緒に盛り上げ

目標設定 川内優輝選手にチャレンジ (男子)
川内侑子選手にチャレンジ (女子)

参加チーム 162チーム
参加者 1,083名



「川内選手にチャレンジ」表彰式もオンラインで



特設サイトを立ち上げ

当社におけるスポーツの目的

4つの価値

- (1) 社内活性化 : 一体感醸成、チーム意識醸成、モチベーション醸成
- (2) 人財育成 : 社員教育、アスリート教育、地域での教育支援
- (3) 地域連携 : 自治体連携による社会活動、アスリート能力開発
- (4) アスリート育成 : アスリートの努力の過程が社内風土に好循環



<これからの課題> 価値を引き出すことにより、社会的価値の創造につなげる



スポーツ領域に関連する主なSDGs目標





東京都スポーツ推進企業の皆さまとともに、取り組みの輪を広げたいと思います。
そして、その取り組みが東京都でのレガシーとなりますように！



Aioi Nissay Dowa Insurance